

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【公開番号】特開2011-112925(P2011-112925A)

【公開日】平成23年6月9日(2011.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2011-023

【出願番号】特願2009-270161(P2009-270161)

【国際特許分類】

G 02 B 1/11 (2006.01)

【F I】

G 02 B 1/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月13日(2012.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材と、

該基材上に形成され、表面に不均一な凹凸構造を有する機能付与層と、
を備える光学フィルムであって、

前記凹凸構造の平均波長(Sa, μm)が5 μm以上50 μm以下であり、かつ
中心面平均粗さ(SRa, μm)が下記式(1)を満たす、光学フィルム。

0.0015 × Sa < SRa < 0.010 × Sa 式(1)

【請求項2】

ヘーズが0.5%以上7.0%以下である請求項1に記載の光学フィルム。

【請求項3】

遮光部分と透光部分を有する光学くしを用いた場合、0.25mmくしでの透過像鮮明度が2mmくしでの透過像鮮明度の0.65倍以上である請求項1又は2に記載の光学フィルム。

【請求項4】

前記凹凸構造が、干渉露光によって形成された請求項1乃至3のいずれか1項に記載の光学フィルム。

【請求項5】

前記機能付与層が、表面に凹凸構造を有するハードコート層からなるもの、表面に凹凸構造を有するハードコート層の上にさらに低屈折率層を設けたもの、及び表面に凹凸構造を有するハードコート層の上に高屈折率層と低屈折率層とを順に設けたもののいずれかである請求項1乃至4のいずれか1項に記載の光学フィルム。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか1項に記載の光学フィルムを粘着剤を用いて表面に貼り付けてなる表示装置。